

わかみまち 議会だより

令和3年8月1日発行
宮城県加美町議会
No. 74



お米を作るって大変🍴
(5/30 旭地区・田植え体験)

6月定例会／6月臨時会

新型コロナ対策 要望書提出 …… P2

一般質問 町政を問う (8人が質問) …… P7

新人議員インタビュー …… P16

あれからどうなった (追跡シリーズ) …… P18

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索

<http://www.kami-town.stream.jfit.co.jp/>

要望書を提出



本町における新型コロナウイルス感染者数は、7月15日現在で94人となっております。町職員の感染も12人と増えており、新年度早々子ども園休園や窓口閉鎖など、一時的ではありますが一部の行政サービスに支障をきたす状況に陥りました。

このような町の状況を鑑み、議会は常任委員会ごとに支援対策を取りまとめ、6月1日に早坂忠幸議長と伊藤淳副議長が、猪股洋文町長に直接要望書を手渡しました。今後、ワクチン接種予約方法の改善や、地域経済の支援策が進むことを期待し、議会としても注視していくことを確認しました。

要望書の主な内容

町民への対応

◆ 広報誌やホームページで情報を発信する際、わかりやすい表現で疑問や不安を解消し、タイムリーな情報提供に努めること。

公共施設感染防止対策

◆ 施設職員が感染した場合、専門業者による消毒作業を実施し、感染経路の究明と拡大防止に努め、周知を図ること。

事業者への経営支援策

◆ 支援策の周知と、未申請者を把握し積極的に申請を呼びかけること。
◆ 申請方法の整備とサポート体制の構築。

危機管理体制

◆ 感染症対策室職員は、本来の業務と兼任しており負担が大きい。長期化するコロナ対策に専念できるように職員を配置すること。

ワクチン接種

◆ 希望者が安心して受けられるよう、個別・訪問接種の体制整備を図るほか、予約日時の指定も検討すること。

◆ 障がい者や介護従事者・教員・保育士などの優先接種の拡大。

◆ 会場に行くことが困難な希望者の支援策を検討・実施すること。

生活困窮者への支援策

◆ きめ細やかな相談支援の充実を図るとともに、失業者や低所得者に対して新たな生活支援策を検討・実施すること。

◆ 町総合防災訓練で、災害発生時の感染防止策を考えた避難方法を、住民に周知すること。

◆ 住民が会合などを開催する際、判断基準となるガイドラインと感染防止マニュアルを作成し周知すること。

新型コロナウイルス対策

迅速対応へ要

64歳以下の集団接種 8月中の早期完了へ

12歳から15歳の実施は未定

要望書提出後、6月23日の全員協議会で、ワクチン接種の状況と今後の予定が説明されました。

12歳から64歳の集団接種は、加美郡医師会と協議のもと早期完了を図り、国が示す接種順位によらず一斉に実施されます。このうち12歳から15歳の実施は、医師会と協議・検討のため未定です。

ワクチン接種体制

【対象者】

16歳～64歳：11337人

12歳～15歳：717人

【期間】

1回目：7/10～28

2回目：7/31～8/22

【一日の接種人数】

420～840人（バツ

ハホール・宮崎福祉セン

ター）

840～1680人（や

くらい文化センター）



この日は1,386人が接種を受けた（7/11 やくらい文化センター）

【接種券】

16歳～64歳：2回に分けて

6月下旬発送済み

12歳～15歳：発送は未定

【予約受付】

接種券が届き次第予約可

能。専用電話・インター

ネット・音声案内で対応

2回分同時に受付。

かみまちのまちのお店 × 加美町 Kami Town × PayPay

PayPayで加美町を元気に！
対象店舗で最大20%戻ってくるキャンペーン

対象店舗でPayPay残高でお支払いすると*

お会計額の **20%** 戻ってくる

付与上限
2,000円相当 / 日、20,000円相当 / 期間

※キャンペーン期間は2021年7月1日～8月31日まで

住民・事業者への支援

町では現在、プレミアムポイントキャンペーンを実施しています。

7月1日から8月31日までの期間中、町内の対象店舗にて、スマートフォンアプリ「PayPay（ペイペイ）」を利用して支払いをすることで、支払い額の20%分がポイント還元（上限あり）されるものです。

コロナ禍に対応した「新しい生活様式」による非接触型決済の導入促進と、町内小中規模店舗への経済支援を目的としています。

キャンペーンや対象店舗の詳細については、町ホームページをご覧ください。

公共施設の管理運営のため 基金を創設

議案 審議

6月 定例会

加美町公共施設等総合管理基金条例の制定について可決しました。

町では、公共施設などの適正な配置や効率的な管理運営を進めていくため、「加美町公共施設等総合管理計画」と、その実施について「加美町公共施設等個別施設計画」を策定しています。

これらの計画を進める上で、財政負担の軽減と平準化を図るため、基金を創設し、今後見込まれる公共施設の改修・修繕・除去などに必要な経費の財源とします。



遊休地・遊休施設の売却を検討

問 財政調整基金への積み立てでなく、基金を創設するのはなぜか。

答 公共施設の統廃合など、総合管理計画に基づいた事業への充當を目的として、積み立てを行うためである。

問 基金への積立金はどのようにして捻出するのか。

答 町有地・公共施設売却の際に、その収入を積み立てる。

6月定例会は6月8日から9日までの2日間開催しました。

一般質問では、8人の議員が町政運営について問いました。

議案審議では、加美町公共施設等総合管理基金条例の制定や、消防ポンプ積載車・除雪車・スクールバスの購入、

令和3年度一般会計補正予算、教育委員会委員の任命など24議案が町長より提出され、23件を審議し全会一致で可決しました。1件は会期中に提出の取り下げがあり、後日臨時会にて審議し可決しました。

固定資産評価審査委員

【再任】

渡邊俊次さん
(宮崎・東町)

【新任】

小笠原千佳さん
(中新田・下多田川)

【新任】

佐藤和枝さん
(小野田・下区)

任期は、令和3年6月23日から3年間

教育委員



【新任】

深澤知里さん
(中新田・白子田)

賛成16 反対0

任期は、令和3年6月26日から4年間

任期満了に伴う、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

人事案件

定例会で審議した内容

報告	8件
承認	4件
条例	1件
補正予算	2件
工事請負変更契約	1件
物品購入契約	3件
人事案件	4件

補正 予算

6月定例会では、一般会計として歳入歳出それぞれ2億573万6,000円を増額し、総額134億1,011万2,000円とする補正予算を可決しました。

一般会計の補正予算

主な内容		補正額
歳入	地方創生臨時交付金	3,847万円 増
	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費交付金	1,590万円 増
	強い農業・担い手づくり総合支援交付金	1,414万円 増
	町有地売払い収入	9,500万円 増
歳出	小野田文化会館空調設備改修工事請負費	270万円 増
	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	960万円 増
	文化芸術活動情報発信補助金	100万円 増
	農業施設災害復旧工事請負費	680万円 増
	東京オリパラ加美町ホストタウン推進協議会補助金	234万円 増

※ Pick up は、議員が質問した項目を中心に選んでいます。

問 文化芸術活動情報発信の内容は。

答 コロナ禍による活動制限の中で文化芸術活動を伝承及びPRするための動画制作・配信である。町内の4団体に委託または補助している。今回、国立音楽院に委

託している「音楽を通したまちづくり」PR動画の、制作におけるコロナ対策と配信設備の費用として100万円を追加計上する。

問 国立音楽院以外の3つとは。

答 虎舞保存会と中新田打ち刃物の伝統継承動画、観光大使による町のPR動画の3事業である。

Pick up1

「音楽を通したまちづくり」PR動画に

100万円増額

Pick up2

チリ選手団受け入れに

234万3,000円増額



2月9日、中新田高校カヌー部と志津川高校の生徒がチリ選手団と交流

問 東京オリパラ加美町ホストタウン推進協議会への補助金の内容は。

答 コロナによる移動の制限に伴う、貸切バスの使用と宿泊日数の増加によるものである。

6月定例会において議案提出の取り下げがあった、加美町宮崎温泉施設等条例の一部改正について審議し可決しました。

臨時会

6月29日

改正前

テニスコート
1コート1時間当たり 500円



改正後

ドッグラン
1頭1日当たり 1,000円
※コテージに宿泊する場合は無料

ゆくらんど施設内のテニスコートの利用がほとんどないこと、犬同伴の客が増えていることから、テニスコートをドッグランに改修して利用料を設定するための改正です。6月7日に産業経済常任委員会で現地視察を行い、改修後の状況や周辺施設への影響などを慎重に検討していました。

問 ペットも宿泊可能なコテージを増やす考えは。

答 ドッグランに改修するにあたり、全5棟の内、2棟をペット宿泊可能とする。今後、利用者のニーズなどを踏まえ、棟数を増やすかどうか公社内で検討していく。

問 ペットアレルギーを持つ宿泊客への対応は。

答 予約・チェックイン時に説明するほか、公社内で清掃の内容を検討している。

6/7 産業経済常任委員会が現地視察



愛犬家の集客に期待

ドッグランは、利用料を徴収しないお試し期間として、6月1日より一般開放していました。議会ではこれを受けて、産業経済常任委員会が現地視察を行いました。

「わん！パークすみかわ」7月1日オープン
ゆくらんどを愛犬と滞在できる施設へ

町政を問う

8人が質問

似顔絵をかいてくれたおともだち

加美町立認定こども園

おのだひがし園

きりん組



一般質問 目次・質問のねらい



発言順1 **柳川 文俊** (やながわ ふみとし) 8ページ

65歳以上の高齢者5人に1人、75歳以上は3人に1人が要介護・要支援となっている。将来とも安心して介護サービスが受けられるためには、介護従事者の確保が喫緊の課題である。



発言順5 **味上 庄一郎** (みかみ しょういちろう) 12ページ

汚染牧草は、すき込みと焼却処理を同時に進めなければ、加美町から永久に無くならないとの思いから。



発言順2 **伊藤 由子** (いとう ゆうこ) 9ページ

地球規模の温暖化も気になるが、まずは足元の我が町のことを考えたい。予防原則にのっとりて予見できる危険は除去したいので建設場所・設置基数などに注文をつけたい！



発言順6 **米木 正二** (よねき しょうじ) 13ページ

町民一人ひとりが地域社会の豊かさを感じ、安全に、安心して暮らし続けることができるまちづくりが重要と考えて。



発言順3 **一條 寛** (いちじょう ひろし) 10ページ

高齢化と人口減少で地域力が低下する中で、地域力を高めるためには行政区の再編など対応策を急ぐ必要を感じて。



発言順7 **高橋 聡輔** (たかはし そうすけ) 14ページ

- より多くの人が世界農業遺産に関心を。
- 東北陶磁文化館の収蔵品は町の財産では。



発言順4 **佐々木 弘毅** (ささき こうき) 11ページ

- コロナ禍の中、教育現場、介護現場の前線で仕事をする人たちへの優先接種をすべきでは。
- やがて加美町を背負う子どもたちの教育により関心を！



発言順8 **木村 哲夫** (きむら てつお) 15ページ

町民のみなさんの暮らしが少しでも楽になるように、加美町の経済状況がどのようになっているかを分析し、課題と対策を共に考える。

一般質問とは、議員が町政全般に関して、町長や教育長など執行機関に対し質問することで、各定例会（年4回）に行われます。

介護人材確保のため慰労金を

町長 他の自治体の取り組みを研究・検討



柳川文俊 議員

問 第8期介護保険事業が4月からスタートした。計画策定にあたり、検証と課題は。

また、介護保険料が月額6300円に据え置かれた。県内で上から7番目に高いが、どう受け止めるか。

町長 介護給付費が年々増加傾向にある。健康教室・認知症予防講座の開催など、介護の重度化を少しでも軽減できるような、啓発に努める。

介護保険料は、国民年金で暮らしている高齢者にとって、大きな負担になっている。町としては今後も十分配慮し、負担を軽減できるよう計画を作っていく。

問 介護従事者の人材不足が慢性化している。町内の特別養護老人ホームやグループホーム、加美老人保健施設の実態は。

町長 老人ホームの職員数は満たしているが若い世代の従事者が不足しており、シフトを回すのが大変な施設もある。一方で、欠員が出てモロワークを通じて補充している施設もある。グループホームは、人材不足の中で、やり繰りしながらやっている。施設の立地条件・業務形態などで人材確保に違いが出ているようだ。

加美老人保健施設は、職員不足で定員100床を70床に減らして対応している。今年度からコンサルタントのアドバイスを受けながら、経営改善に取り組んでいく。



人材確保とともに経営の改善が望まれる



人材確保のためにも、介護従事者の待遇改善を

問 要介護者などの増加に伴い、介護人材の確保は急務である。介護職に限定した、一定期間働いたら慰労金を支給するなどの制度を創ることを提案したい。

町長 介護職は、一番離職率が高いと言われる。提案の慰労金支給を含め、人材確保のために何が有効か、他の自治体の取り組みも研究しながら前向きに検討する。

問 核家族化が進む中、高齢者と接する機会を増やすことは子どもの成長過程にとって大事なことだと思う。介護体験など、小・中学校の学習に取り入れる考えは。

教育長 高齢化社会を見据え、児童・生徒が介護体験などを通じた世代間交流の必要性が高まっている。

コロナ感染症収束後は、学校・福祉団体連携による職場体験など福祉教育の充実を図っていきたい。

安全性が今後の課題では

町長

健康被害を出さないよう意見していく



伊藤由子 議員

問

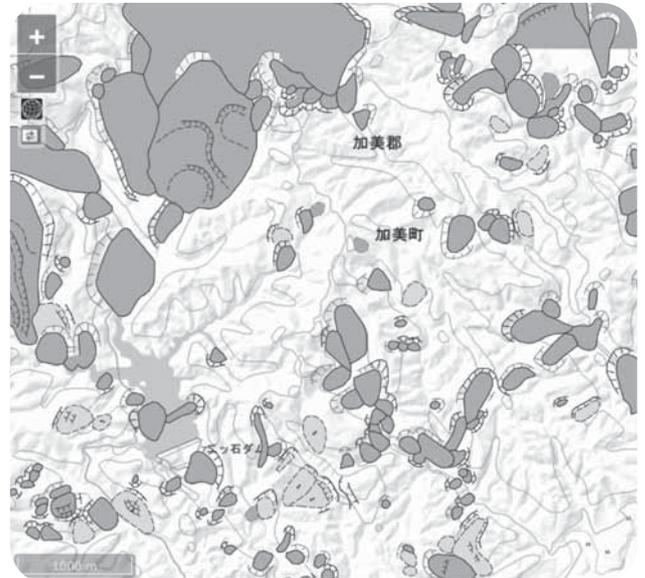
風力発電機設置による土地の改変はどのようなことを指すか。また、支柱を支える土台の広さや、1基あたりの建設に必要な面積は。

森林の伐採や、道路の拡幅・造成などの工事である。

土台の直径は17〜18m。作業の面積を含めて約2400㎡ほどである。

問

建設範囲内に地すべり地点は1か所と答弁にあったが、地震ハザードステーションマップによると、地すべり地形は広範囲にある。土地の改変によって誘発される危険性はないか。



※図 国立研究開発法人 防災科学研究所「地震ハザードステーションマップ」(濃い色の箇所が地すべり地形)

企画財政課

事業所の見解では、「重大な影響を及ぼすと判断した場合には、対象事業区域から除外し、環境影響を回避または低減できるよう取り組んでいく」とある。

問

西部風力発電事業の建設予定地は、水源涵養保安林・土砂流出防備保安林の中にあるが、保安林として機能低下の心配はないか。

事業者は、土砂流出防備保安林には発電機は設置しないとしている。

また、水源涵養保安林における事業は、県・林野庁と協議して進めることになっている。

問

どの事業所の方法書にも「低周波」の調査が予定されており、調査地点3か所とあるが、西部発電所の場合は。

1点目が予定地の東側で2・8km、2点目は住宅から最も近い南東側で1・4km、3点目は南西部で住宅との距離は2kmとなっている。

問

世界的に、低周波による睡眠障害に関する論文が増えている。風力発電をいかに安全にしていくかは社会的、経済的に必要なことと言われ始めているが。

町長

再生可能エネルギーを進めていかなければならないという前提を踏まえつつ、健康被害を出さないよう、これからも意見していく。



環境・人体へ影響を及ぼさない安全な運転を

行政区の活動低下が懸念されるが

町長 地域運営組織の設立を支援する



一條 寛 議員

問 行政区は町と住民を結び基礎的組織である。人口減少や高齢化により地域活動の低下が懸念されるが。

町長 町内の行政区は79に区分され、合併後再編は行われていない。そのうち、20世帯を下回る4行政区などは、区民の減少により役員の選出や事業実施が困難との話を聞いている。

「地域力向上支援事業」として住民自身が地域の課題や資源を知り、自ら解決の活動主体となる地域運営組織の設立に向け支援していきたい。

問 町は設立にどのように関わっていくか。また、行政区の再編も視野に入れるべきと思うが。

町長 地域「コミュニティ推進協議会」にアプローチし、地域住民の自主性を尊重し寄り添いながら支援していく。

再編は、行政区の役割を運営組織が担うようになる中で、区民の気持ちを大事にしながら検討していく。



旭地区地域運営組織による田植え体験

不登校児童・生徒の支援は

問 「教育機会確保法」の理念に基づいた不登校の児童・生徒への支援の状況は。

教育長 ①魅力ある学校づくりの推進

②別室登校、面談、定期連絡や家庭訪問の実施

③社会的自立に向けた意欲向上のため、「心のケアハウス」「けやき教室」、フリースクールを活用

基本理念に基づき以上の取り組みをしている。



宮崎支所 2階で開設している心のケアハウス

問 「心のケアハウス」の運営方針は。

教育長 不登校からの復帰だけでなく将来的に自立ができるよう、子どもたちが自らの意思で一歩踏み出せるような方向で指導している。

問 不登校の原因となる、様々な問題を抱える児童・生徒への相談窓口の整備状況は。

教育長 教育委員会だけでは対応に限界がある。子育て支援室や児童相談所などと連携を図りながら進めている。

汚染牧草

焼却は町民に対する責任と役割では

町長

今も係争中で、私たちが焼却を叫ぶべきではない



7月17日に開催し、町・県の担当が説明した

問 保管農家が自身の草地にすき込むことに了解しているのに、なぜ処理が進まないのか。

産業振興課 振興長 実証試験後の説明会で、町有地にすき込むべきとの意見が多く出て方針を変更した。その後、風評・健康被害を心配する声があり進んでいない。



味上 庄一郎 議員

問 町民に広く呼びかけ、国・県・大崎広域などの担当者も同席の上、説明会を開催すべきでは。

産業振興課 振興長 国・県にも相談している。バッハホールなどの大きな会場で、7月から8月の間で開催したい。

問 すき込みの候補地として、町有地だけではなく、現在使用していない個人の牧草地も活用してはどうか。作業は、ノウハウを持つみやぎ農業振興公社に委託し、国の補助金（処理加速事業）と震災復興特別交付税措置を活用し、早期に取り組むべきでは。

産業振興課 振興長 町としても、この事業があるうちに進めていきたい。

問 指定廃棄物最終処分場候補地の調査を阻止したことより、一時保管分の焼却処理を進めることが、町長の町民に対する責任と役割ではないか。

町長 焼却処理は今も係争中であり、私たちが焼却を叫ぶべきではない。

問 消防団に対する火災発生時の災害情報配信システム登録は、現在班長までだが、団員までの拡充はできないか。

危機管理課 管理長 消防団幹部とも協議の上、拡充も考えていきたい。



迅速な消火のため、訓練を行う消防団

町の危機管理体制は

問 団員の高齢化が進んでいるが、新入団員の加入対策は。

町長 町・消防署・消防団でのPRや勧誘活動を検討する。

問 町長は、火災現場に普段着ではなく町の作業服で駆け付けるべきでは。

町長 団員には一人ひとりの声をかけている。消防団から依頼があれば、挨拶もする。

問 ワクチン未接種の新人は、8月14日の成人式へ出席できないのか。

生涯学習課 学習長 体調に問題がなければ出席可能である。

災害対策として河川の改修は

町長 県に対して要望している



米木正二 議員

問 グリラ豪雨や台風などによる風水害・土砂災害対策として、河川の改修は。

町長 令和元年の台風19号など、これまで何度も、増水などにより農地・住宅に被害があった。多田川・名蓋川・境堀川について、河川掘削や堤防のかさ上げなど、県に対して要望している。

問 改修には長期間要するとのことだが、町長の政治力で早期の改修はできないのか。

町長 県の計画では、下流から整備を進めていくということである。加速できるよう働きかけていく。



令和元年台風19号の際、周辺一帯に水が溢れた(名蓋川・国道347号から)

問 雨水対策に特化した避難訓練の実施は。

町長 水害を中心とした防災訓練・避難行動など、実施に向けて協議中。

問 町民の安全・安心を守るという重要な役割を担っている消防団員の処遇改善は。

町長 総務省より、団員の報酬などの見直しに取り組みよう通知があった。今後検討していく。

問 学校施設の安全対策として、防球ネットなどの調査・点検は。

教育長 白石市の小学校で痛ましい事故があり、緊急に、小・中学校、子ども園の安全点検を実施した。16施設中、12施設で合計49か所の異常が見つかり、使用中止や立ち入り禁止の処置をとった。防球ネットは11か所あり、1か所は腐食のため撤去した。

問 通学路などの危険箇所の安全点検と整備は。

教育長 警察署・教育委員会・危機管理室などと、学校の安全担当教師で安全点検を実施し、改善を図っている。

問 誰もが安心して歩ける歩行者環境の整備は。

町長 歩道の設置は、工事費・補償費など費用がかかるため困難である。歩道の無いところは、側溝への蓋の設置、路肩のカラー舗装などによる安全対策に努めていく。



点検を行い安全を確保

減少する居久根の保存は

産業振興課 長

大崎市のマニュアルを参考に検討

町長 コロナウイルスの影響や、受け入れ農家の高齢化により減少している。9月4、5日に大崎市をメイン会場に第一回全国農泊ネットワーク宮城大会が開催される予定で、町民の皆さんにも参加してもらいたい。

問 グリーンツーリズム・農泊の現状は。

町長 稲作を支えてきた多くの地域資源や農産物の活用、農商工連携取組への推進、グリーンツーリズムなどの交流を通じて、大崎耕土の魅力発信したい。

問 大崎耕土世界農業遺産に関するPRと取り組みは。



高橋 聡 議員



グリーンツーリズムでの田植え体験 (5月12日 仙台市・五橋中学校)

問 農業・農村の有する多面的機能の保全が、高齢化により厳しくなってきたというのだが、保全会によっては、草刈りなどの作業に人が集まらなく苦労している地域もある。機械を持つている法人に作業を委託するというやり方なども検討していく。

問 世界農業遺産には居久根(屋敷林)も重要である。管理に様々な問題があり減少傾向にあるが。

産業振興課長 推進協議会が2016年と2019年に調査したが、大崎1市4町で12%減っている。大崎市でモデル地区を設定して、居久根の保存用の補助金を交付し、マニュアルをつくる予定である。今後、情報を共有することになっているので、マニュアルなども参考にしながら対応を検討したい。

問 陶磁館収蔵品の行方は、井沢長介記念東北陶磁文化館が閉館したが収蔵品の行方は。



東北陶磁文化館での作品展示風景

問 陶磁館収蔵品の行方は、井沢長介記念東北陶磁文化館が閉館したが収蔵品の行方は。

教育長 切込焼はふるさと陶芸館、その他の作品については、移譲条件を満たすことができる東北福祉大学へ移譲する計画で考えている。

問 展示物は借用品か、それとも寄贈品か。寄贈であれば、加美町の町有財産であるが。

東北陶磁館長 寄贈品であるが、4つの条件が付されている。
①設立趣旨を守り、井沢長介氏の遺志を継承する。
②井沢長介氏による収蔵品はコレクションとして四散させない。
③他の作品と混合しない。
④コレクションを有効に活用しながら将来にわたって保全する。



宮城県村田町塩内窯「紐付切立」

維持管理について寄贈者と協議し、条件を満たせないので返還して大学に移譲という経緯となっている。

町内企業の育成に入札制度の見直しは

町長 社会的背景を把握し、適切に運用



木村 哲夫 議員

問 コロナ禍での町民の暮らしをどのように認識しているか。

町長 長期化による経済活動の低迷や生活様式の変化に伴い、売上げ減少・経済格差が生じていることから、町民の暮らしに大変大きな影響を及ぼしている。昨年度は臨時交付金などを活用し、7億2000万円の感染症対策事業を実施した。

問 町内のお金の循環状況をどのように捉えられているか。

町長 まち・ひと・しごと創生総合戦略（イカノ工戦略）で里山経済の確立に向け様々な取組を行っている。代表的な事業はスマイル補助金制

度で、地元業者で新築した件数は87件（補助金交付額8210万円）となっている。また、プレミアム商品券発行や、新たにペイペイ20%還元キャンペーンなどを実施し、町内でお金の循環を促すことにしている。



PayPay(ペイペイ)20%還元キャンペーン実施中！

問 町内企業の育成や地域経済循環の観点から、公共事業の入札制度を見直す考えはないか。

町長 直近3か年の入札で、町内事業者が落札契約した割合は、平成30年度は約57%、平成31年度は約63%、令和2年度は約41%である。法令遵守はもちろん契約における原則を踏まえた上で、

地域要件や過去の工事実績など適切な競争参加条件の設定をしている。町内企業の育成といった社会的な背景も的確に把握しながら、総合評価落札方式なども検討していきたい。

問 地域経済循環分析業務委託料の内容及、活用策は。

町長 町内の各産業のつながりや自給率を明らかにし、地域内でのお金の流れを可視化する加美町版産業連関表を作成し、この分析結果を基に施策の立案などに活用したい。

問 ※RESAS（地域経済分析システム）を活用して加美町の経済状況を分析すると、

町長 まさにそういった状況を改善するためこの5年間、町の様々な資源の活用でお金の流出減少と流入増加を図る取り組みを、地方創生の一環として進めている。

Check

※RESAS

経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供している、地域経済分析システム。地方創生の様々な取り組みを情報面から支援することが目的。

自治体職員や、地域の活性化に関心を持つ様々な分野の人々に、効果的な施策の立案・実行・検証などのために利用されている。

研修

振興公社の新たな取り組み

視察

やくらいサイズゴルフ倶楽部 運営状況

議員会

6月16日



（株）加美町振興公社は、

観光資源の活用や地域産業の好循環促進など、6つの戦略を立て、観光産業の振興、地域活性化に取り組んでいます。

振興公社の「持続可能な加美町の価値向上と人流創造を目指した取り組み」について、阿部社長から講演をいただき、地域の課題解決や活性化のために、観光の振興が大きく関わることなどを学びました。

やくらいサイズゴルフ倶楽部の営業状況や今後の計画について説明を受けた後、コースの状態を確認しました。

企業努力によるイノシシ被害対策や芝の病害対策の結果、コースの状態は昨年に比べ大幅に改善されています。また、新しく始まるグランピング事業も、建物土台の造成が行われており、オープンに向けて順調に進んでいるようです。

議員協議会

7月6日

JRE宮城加美町ウインドファーム

風力発電工事状況を確認



基礎の鉄筋や、コンクリートを流し込む枠を組み立て中

一部町有地を含む漆沢大野周辺に10基の風力発電機を設置する「JRE宮城加美町ウインドファーム」の工事を、町職員同行で確認しました。設置予定10基のうち、4基が土木工事を終えて基礎工事に取り掛かっています。全ての工事・検査が終了して運転を開始するのは、令和6年4月1日を予定しているとのこと。建設に伴う土砂災害などの危険性について質問したところ、雨水対策や地盤調査の実施、県への林地開発許可手続きなど、安全に最大限配慮して工事を進めているという回答を得られました。

特別企画

☆ 新人インタビュー ☆

議員になって想うこと



尾出 弘子 議員
(68才)
中新田・下新田下
産業経済常任委員会
議会広報常任委員会

Q1 議員になってみてどうですか？

旧中新田町時代に「婦人の翼」という海外研修で、ドイツのアウスバツハの市長・議長との懇談の際「議員はボランティア。夜や休日に議会を開催」との話に感動しました。働き盛り・子育て真っ只中の若い世代はともかく、我々世代の議員は、ドイツのような取り組みを考えてみるのも良いと思います。加美町議会ではマイカップ持参、飲んだ後は各自が洗う。昼食のお弁当容器も残飯は別にし、きっちり重ねてごみの分別・減量を考えています。これを見たときは思わずいいね！と感じました。エコなところも考えているんですね。

Q2 加美町への想いや期待することは？

人は一人では生きていきません。皆で助け合いながら、協働のまちづくりを進めましょう。若い人達には町政に興味を持ち、議会に挑戦してほしいです。大人も子どももいろんな事にチャレンジして、生き生き楽しく暮らせる、キラリと光る田舎町になったら最高です。



佐々木 弘毅 議員
(69才)
中新田・南町
教育民生常任委員会
議会広報常任委員会

Q1 議員になってみてどうですか？

先輩の皆さん、よく勉強されていて感心します。「町民の声を届けます」と皆さんに約束したので、しっかりと学び、必要な声を提案しながら届けて行きたいと思っています。

それにつけても、結構忙しい仕事があるものですね。これから若い世代の人達にしっかりとバトンを渡せる人になりたいと思います。

Q2 加美町への想いや期待することは？

私の大好きな故郷です。大好きな友人、仲間たちがいるこの町で仕事、家庭を持ち、友人、仲間たちから人を大切にするのを教えられました。自然の山、川で遊びながら学んだことも多くあります。次世代に良き時代と環境を語り継ぎ、残していきたいと思っています。

子どもたちには、自然の中で遊び、お年寄りを大切にできる優しい人になってほしい。加美町の町民憲章にあるように、夢のある若鮎になってほしい。



柳川 文俊 議員
(69才)
宮崎・根岸
総務建設常任委員会
議会広報常任委員会

Q1 議員になってみてどうですか？

就任当初から決めていたこと、それは活動内容を記した「みやざき民報」の発行です。これまで、特集号を含め3号まで発行することができました。町民の皆さんから「議員は何をやっているんだ」との声を多く聞かれます。4カ月が経ち、議会はじめ委員会への出席など、思った以上に忙しい、これが実感です。

Q2 加美町への想いや期待することは？

合併して18年、職員の顔ぶれも半数以上変わり、時の早さをつくづく感じます。ひとつ言えることは、職員の方々はよく勉強し、仕事にあたっていらっしゃいます。大切な人財です。まちづくりの「かじ取り役」として、一層の活躍を期待しています。

子どもたちにもお願いがあります。おせっかいなことと言われるかもしれませんが、スマートフォンなどの普及で、会話をする時間が少なくなつたように感じます。本を読むと、心が豊かになる、とも言われています。ぜひ読書する習慣を身に付けてほしい。

あれからどうなった vol.45

令和元年6月・9月定例会の一般質問内容が、その後どう取り組まれたかをお知らせします。

令和元年9月定例会 議会広報No.67号から

■古川方面へのバスの整備は



問 古川方面へ通学する学生は、何度か乗り継いだり祖父母に送迎されて登校している。

古川方面に通う高校生を送迎するスクールバスは導入できないか。

答 通学専用バスの提案があったが、少し時間をいただいて検討する。

その後



■制度上、運行はできない

町の住民バスが運行できる範囲は、民間事業者のバスが運行していない交通空白地域に限られます。

東北運輸局にも確認しましたが、ミヤコーバス色麻線が、色麻町から中新田を通り古川まで運行しているため、どのような手段であれ、地域公共交通会議での合意が得られず、運行できないとの回答でした。

令和元年6月定例会 議会広報No.66号から

■外国人の受け入れ体制は



問 外国人人材受け入れの環境整備が必要では。

答 各住民窓口が多言語の通訳機(ポケトーク)を設置する。

その後



■ことばの壁の不安を解消

令和元年7月に、町民課及び各支所の窓口にて74言語対応の通訳機を設置しました。技能実習生などの外国籍の町民が年々増加する中、円滑にサービスを提供するための体制を整えています。また、ALTやチリ選手団との交流など、窓口業務以外の様々な場面でも活用しています。

課題解決の進み具合について
お天気マークで表しています



議会だよりにご意見を

昨年度より引き続きご協力いただく8人を含む、計18人に委嘱状を交付しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、委嘱状交付式は行わず郵送での交付となりました。

モニターからのご意見は、議会広報活動に大いに活用させていただきながら編集に努めていきます。また、町民の皆さんからも議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。



議会傍聴について

議会定例会の日程は、開会前に各家庭にチラシを配布してお知らせします。

議会の傍聴については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から自粛をお願いしています。中新田本庁舎や小野田・宮崎支所にて中継映像を視聴できるほか、インターネットでも生中継しておりますので、そちらでのご視聴をお願いします。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

インターネットで議会を生中継しています

インターネット上で、議会の生中継を視聴できます。「加美町議会映像配信」と検索するか、下のQRコードをスマートフォンで読み取り、映像配信ページまでアクセスをお願いします。

議会中継を
スマホから



QRコード

次回の定例会は
9月中旬頃
から開催です

議会だよりへ一言

議会だより71号（令和2年11月1日発行）に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター 賛成、反対について、全議員の意見を載せた方がよいと思います。結果として「不認定」としても、その全体の理由が聞きたいものです。



**広報委員
会として** 決算審査に限らず、議案審議の際に討論があった場合は、討論を行った全議員分の内容を掲載していますが、その他の議員の質疑を掲載することは紙面の都合上難しいと考えています。

認定・不認定の結果だけではなく、その大きな要因など、審議の内容を正確に分かりやすくお伝えするよう努めます。

情報公開

●議長交際費内訳 (4月～6月)

月	件数	金額	内訳
5月	1件	5,000円	賛助金



詳細は町ホームページに掲載しています。

表紙写真の紹介



旭地区・田植え体験
(5月30日)

今年4月、旭地区の「宮崎西部地区コミュニティ推進協議会」が地域運営組織としてスタート。その中の若者世代の集まり「旭プロジェクト」が、地域の子供たちを対象に昔ながらの田植え体験を実施しました。

写真の作業は枠回しといって、土に苗を植える目印をつけています。2人の一生懸命な姿に、思わず「頑張れ！」と声をかけたくりますね。



～活力ある地域安全をめざして～

中新田・菜切谷（79戸）



青砥 七郎 区長

当地区は、国道四五七号線（旧羽後街道）沿いにある行政区です。宮城県で初めての発掘作業が行われた、

県指定文化財である奈良時代の菜切谷廃寺跡をはじめ、中世の菜切谷館跡や、江戸中期の明和二年から名水と言われ当区で代々管理している滝ノ沢不動明王尊など、遺跡の宝庫地帯となっております。

平成五年に寄附などにより「老人憩いの家」集会所が完成しコミュニティ活動の場として利用しています。昭和五十年代に主に若い世代で「親和会」を結成し、盆踊りなど各種行事に参加していましたが、近年の少子高齢化に伴い活動が低調となりました。今後は次の世代に期待するところです。

集落の中に国道があるので、交通安全母の会などが中心となった定期的な街頭活動や、パトロール隊の活動で地域安全に努めています。

今年もコロナ禍で行事が中止のため、お不動様に早期収束を祈願しています。皆さんも、ご利益のあるお不動様にぜひご参拝ください。



発行責任者／宮城県加美町議会 早坂 忠幸
編集／議会広報 常任委員会

われらが仲間

加美町の大自然を遊びつくそう！
宮城天狗の会



昭和57年に発足したこの会は当時、開業獣医師として日々奮闘していた故矢瀧先生の地元の大自然への思いと、その自然を守る考えに共感した仲間たちの集まりで、現在16人で活動しています。

春は山菜を採り、夏は川で鮎釣りをし、秋には船形山のブナ林でのキノコ採りなど……。その都度、会員以外も集まり、自然の恵みをいただきながら、よもやま話に花を咲かせる……。そんな遊びをして、40年になりました。

平成27年からは、鳴瀬吉田川漁業協同組合・宮城鮎工房・民間企業などの協賛を頂き「KAMICUP」鮎釣り大会を開催しています。大会では、鮎の塩焼きコーナーやつかみ取りなど、親子で楽しめるイベントコーナーを設けています。近隣市町村や県外からも、この大会に100人近くの太公望が参加しています。昨年・今年はコロナ禍で中止となりましたが、来年は盛大に開催する予定です。皆さんぜひ来てみてください。そして子どもたちに、鳴瀬川の自然の中で遊ぶ楽しみをつなげていきたいものです。

活動日時 春・夏・秋
活動場所 加美町の山・川
代表者 渋谷 英博
連絡先 090-8258-4614

編集後記

目は口ほどに物をいうと言われるように、表情にインパクトのある写真は、かなりの活字量に相当するとか。新聞などでマスクをつけた写真に違和感を感じなくなったのも、コロナ対策で納得しているからか。

年4回発行とは言え、毎年、本誌の表紙を飾る写真には特に神経を使います。一枚の写真から、ホットな話題が広がるかもしれませぬ。たかが1枚、されど重要な1枚です。

一年延期をしての東京2020オリンピックが開幕しました。開催地・東京は無観客試合に。記録に期待しながら……

（柳川 文俊）

議会広報常任委員会

編集委員

- 委員長 味上庄一郎
- 副委員長 柳川 文俊
- 委員 尾出 弘子
- 佐々木弘毅
- 高橋 聡輔
- 木村 哲夫

〒981-4392 宮城県加美町字長檀75-2
TEL 0229-6715120 FAX 0229-6715130
http://www.town.kami.miyagi.jp/ E-mail:kajimu@town.kami.miyagi.jp